

【教科名】 機器分析実験 Experiments in Instrumental Analysis <span style="float: right;">&lt;履修単位科目&gt;</span>						
学年	学科	単位数	期間	開設週数	時間/週	総時間
5	物質化学工学科 応用化学工学コース	(必修) 2	前期	15	4	60
【担当教員】 物質化学工学科教員 【教員室】 各教員室 【TEL】 【e-mail】						
<b>【授業目的と概要】</b> 研究、開発、製造の各分野において高速かつ高感度の分析が必要とされ、種々の機器分析法を理解することが要求されている。本実験では、実際の試料と分析機器類を用いた分析を行い、分析機器の原理、分析法、データ解析法について学習する。「卒業研究」で必要となる分析データの取得に応用することが可能な能力を育成する。						
<b>【授業の進め方及び履修上の注意】</b> 授業の前半は各テーマについての理論の説明を行い、後半は 10 テーマの機器分析実験を 6 班のローテーションで行う。実験中には内容に関して適宜質問を行い、実験終了後はデータ整理・解析を行わせ試問を行い、実験内容の理解を確認する。実験結果と考察を含むレポートを 1 週間以内に提出すること。レポートの内容に不備が認められる学生には、再レポートを課す。各レポートの受理により各実験の終了とする。最終週では試験を行う。						
授 業 項 目	内 容					時間
<b>【前期】</b> ・説明  ・実験項目  ・レポート整理、試験	実験全般のガイダンス 実験内容の説明					4 12
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱分析実験</li> <li>・高速液体クロマトグラフィー実験</li> <li>・ガスクロマトグラフィー実験</li> <li>・核磁気共鳴分析実験</li> <li>・赤外分光分析実験</li> <li>・原子吸光分析実験</li> <li>・可視紫外分光分析実験</li> <li>・ヒト細胞による物質分析及び機能検索手法の実験</li> <li>・DNA の電気泳動及び蛍光染色実験</li> </ul>					36
	(定期試験を行わない)					8
<b>【後期】</b>						
<b>【達成目標】</b> ・各種機器分析手法について、原理、分析法、データ解析法を説明できる ・分析機器を利用・応用できる。				<b>【教科書】</b> 機器分析入門 三共出版、庄野利行、脇田久伸編著 <b>【参考書】</b> 機器分析入門 南江堂、日本分析化学会九州支部編		
JABEE 教育目標		(B)①②, (C)①②③④, (E)②				
準学士課程目標		(B)①②, (C)①②③④, (E)②				
成績 評価	<b>【評価基準】</b> 全ての実験を行い、適切にまとめられたレポートを全て提出すること。さらに、下記評価方法に従った総合評価において 60 点以上を合格とする。				<b>【オフィスアワー】</b> 担当教員毎に異なるので、初回説明時に連絡する。	
	<b>【評価方法】</b> 実験レポート 90% (全実験の平均)、試験 10%					